

## 戦争が起こる原因を考えることで

白田中学校 三年 大塚 光織

あなたはなぜ戦争が起こるのか答えられますか。私は正直上手く説明できません。皆さんも戦争の原因までは知らないという人が多いのではないのでしょうか。

確かに今の私たちにとって戦争は身近なことではありません。戦争に対して無関心であったり、ひとごとのように考えてしまったりしています。それなのに戦争が起こる原因なんて考えて、一体私たちに何ができたのでしょうか。

今では日本で戦争は起こっていません。ですが、世界に目を向けてみると、まだ戦争が行われている地域や国があります。最近ではロシアによるウクライナ侵攻が分かりやすい例です。ではなぜウクライナ侵攻が始まってしまったのでしょうか。

調べてみると、ロシアがウクライナに攻めこんだ理由は、ロシアと仲が良くないグループにウクライナが入るのを邪魔するため、そしてロシア政権が「ロシア人とウクライナ人は一体である」という自分たちの考えだけで、ウクライナに言うことを聞かせたいという考えからでした。

ところで、かつて日本にも戦争を行っていた時代がありました。その中でも有名な戦争の一つに第一次世界大戦があります。この大戦はドイツ・オーストリア・イタリアの三国同盟とイギリス・フランス・ロシアの三国協商が対立している中で、オーストリア皇太子夫妻が暗殺されるという事件がきっかけで起こりました。ウクライナ侵攻では

土地、第一次世界大戦では民族問題、このように戦争は必ず理由があって起こります。しかし、その理由は土地や民族問題だけではなく、人間同士の差別や宗教、資源や政治など様々な理由があります。そして、それが原因でたくさんの方の命が失われるのです。

私が戦争で失われる命について考えたきっかけは、「ヴァイオレットトエヴァーガーデン」という小説を読んだことでした。この小説には、戦争のシーンがあります。そのシンの一つの場面に「死にたくない」という言葉でページが埋まっているところがあり、その次のページに「故郷へ帰りたい」「なぜ互いに傷つけあわなければいけないのだ」と続いています。そのシンは私にとってぞっとし、戦争への恐怖を心に縫い付けられたシーンでした。これがきっかけで戦争について調べていったときに出会ったのは神風特別攻撃隊でした。神風特別攻撃隊とは、第二次世界大戦で大日本帝国海軍によって編成された航空機による体当たり特別攻撃部隊です。その内容を知って、私はこんなあんまりではないか、これでもし戦果がおさめられなければただの死に損ではないのかと思いました。そして私はユーチューブで神風特別攻撃隊が残したメッセージを見聞きしました。それは、両親への感謝や「晴れの戦場」などの前向きな言葉だけでなく、「こんな作戦が上手くいくはずがない」などの言葉も残されていました。皆さんは想像できますか。死ぬと分かっている戦場へ向かう戦士や大切な人を戦場へ送り出す人たちの気持ちをきくと私たちが想像するよりずっと苦しくて、怖くて仕方がないと思います。私はそれを想像してきくと私なら壊れてしまうと思いました。それと同時になぜこんなにも罪のない人々が死ななければならなかったのか、なぜこんな戦争が起きてしまったのか、こんなことただ命を無駄にしているだけではないかと

思いました。

一人一人が戦争が起きる原因を知っていたのなら、一人一人が戦争が起きるきっかけを作らないようにできるのではないのでしょうか。戦争のおこっている地域の人の心の叫びが聞こえるのではないのでしょうか。そして、一つでも多くの命が失われずとも済むのではないのでしょうか。

私たち中学生でも戦争が起る原因を減らすことはできません。私が一番その原因だと思うことは偏見を持っていることです。例えば、パイロットになりたいという女性に「男みたい」と言ってしまう、これはパイロットは男性が多いという偏見を持っているということです。このような考えは相手を不快にさせるかもしれません。また、私は相手の性格がちよっと苦手だと感じ、他の人と違う接し方をしてしまったことがあります。この行動もきつと相手を傷つけてしまったと思います。このようなことは私たちの身近で良く起る些細なことです。このような偏見や差別の積み重ねが戦争の引き金となってしまいかもしれません。しかし、どんな小さな偏見も見逃さない毅然とした態度を一人一人が持ち続けることで、それらの偏見を許さない力は大きなものとなります。その結果戦争に歯止めがかかるかもしれません。私たちは一人一人が戦争が起る原因に関心を持ち、なぜ、どうしてと疑問を持ち、追及すべきです。そして、原因の元にある差別や偏見をなくすために行動したいです。私は周りの人を色眼鏡で見ない、気の合わない人でもその人の立場になって考えてみるなど身近な生活の中で自分の姿を見直したいです。そして視野を広く持ち、戦争にブレーキをかけられる人間になりたいです。そうすれば世界の人々の尊い命を守ることができるようです。